

きになる本をてらします

ブックらいと



その時、世界は……



17世紀～19世紀中期まで、約260年間続いた江戸時代。当時、世界の主要国はヨーロッパに集中していました。イギリスでは、産業革命や各地の植民地化、フランスでは、ナポレオンの活躍や数々の革命が起こり、世界中で争いや混乱の絶えない時代でした。今回は、そんな激動の時代の中、各国で培われた文化や芸術、技術の発展などにらいとをあてます。

1

『ヴェルサイユ宮殿影の主役たち』
ジャック・ルヴロン／著
河出書房新社
2019 235.05

ヴェルサイユ宮殿の華やかさは、現在でもよく知られていますが、華やかさを取り巻く「脇役たち」にもそれぞれ重要な役割があり、ドラマがありました。本書は、時代小説を楽しむように、「脇役たち」の人生から、ヴェルサイユ宮殿と町の様子を知ることができる一冊です。

2



『希望名人ゲーテと
絶望名人カフカの対話』
頭木弘樹／編訳
飛鳥新社 2014 940.268

ゲーテとカフカ、対照的なふたりの言葉に励まされたり、落ち込んだり。今の自分にはどちらの言葉があうのか考えながら読みたい本です。

3



『写真で読み解く
世界の建設機械史』
大川 聡／著
三樹書房 2021 513.8

18世紀、蒸気機関が開発され、19世紀に動力として採用されてから、今日まで多くの建設機械が世に登場してきました。その変遷の歴史を図や写真付きで解説しています。

4



『中野京子と読み解く
フェルメールとオランダ黄金時代』
中野京子／著
文藝春秋 2022 723.359

フェルメールの生きた17世紀のオランダは王政を敷かず、海洋貿易で富み、医学や技術面も最新国でした。この黄金期の100年間を絵画から読み解いています。



相模大野図書館の本は、『日本十進分類法』に従って並んでいます。『日本十進分類法』とは、本を内容別に整理する為の方法です。まず0～9の大まかな区分に分け、その10区分をさらに細かく分けることによって、わかりやすく配置することができます。

またその中で、参考資料(R)、郷土資料(K)、文庫(BF)や新書(S)、旅行ガイド(T)、児童書(J)などは分類記号の前に別置記号を付し、探しやすくしています。他にも、小説(F)、雑誌(Z)、絵本(E)、洋画DVD(DW)、などの表記もあります。